



KRICT ニュース

No.1502

平成 27 年 6 月 22 日発行

中東呼吸器症候群（MERS）について

韓国で流行している中東呼吸器症候群（MERS）は、ソウル及びその近郊から、プサン市へも拡大しています。平成 27 年 6 月 19 日現在、韓国内では感染者 166 人、死亡者 24 人と発表されています。九州とは人の往来の多い地域での流行ですので、当地域への拡大が心配されま
す。韓国での流行は、主に院内感染として伝播し、2 次、3 次、4 次感染まで起っています。病院における初期対応の失敗により、多くの感染者及び死亡者を出していると報じられています。

わが国では、国及び地方自治体から MERS に対する対応が通知されています。当地域の医療機関にも、MERS 感染患者の受診があり得ますので、十分な注意が必要です。発熱を伴う呼吸器症状を呈する患者には、中東地域や韓国への渡航歴や MERS 患者との接触歴等を必ず聴取し、MERS 疑い患者を診察した場合は、速やかに保健所へ通知し、指示を得てください。また、咳エチケットや手指衛生等の標準予防策及び飛沫感染防止策の強化をお願いします。

MERS とは

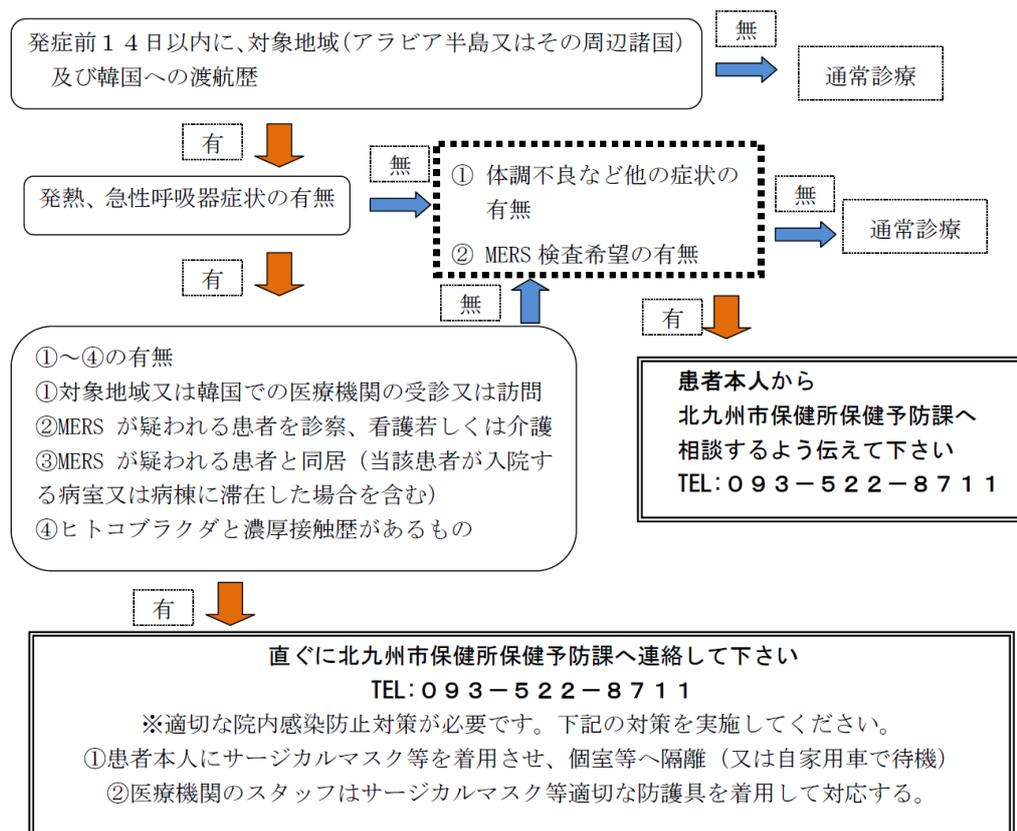
MERS コロナウイルスによって起こる発熱や咳、肺炎、下痢などの症状をきたす感染症であり、高齢者や糖尿病、呼吸器疾患などの合併症を有する患者では、重症化しやすいとされています。MERS ウイルス（MERS-CoV）は、2002 年～2003 年に流行した重症急性呼吸器症候群（SARS）ウイルスに似たウイルスで、ベータコロナウイルスです。2012 年に発見された新種のウイルスです。中東地域を中心に感染者が多くみられ、韓国がサウジアラビアに次いで、感染者の多い国となりました。ヨーロッパ、アメリカ、マレーシア、フィリピンなどへの中東からの帰国者による感染も報告されています。特効薬はなく、予防ワクチンも存在しません。

施設内感染対策は

- 1) 発熱を伴う呼吸器症状を有する患者には、渡航歴と MERS 感染者または疑い例への接触歴を聴取する。
- 2) MERS 疑いの患者を診察した場合、直ちに、保健所へ連絡し、対応を問い合わせる。
- 3) 咳エチケット、手指衛生の励行、高頻度接触部位の定期的消毒（アルコールなど）などの、標準予防策、飛沫感染防止策を徹底する。

MERS に対する医療機関の対応（北九州市の例）

中東呼吸器症候群（MERS）に対する医療機関における対応について



《参 考》【MERS 擬似症患者の定義】

（平成 27 年 6 月 4 日現在）

ア 38℃以上の発熱及び咳を伴う急性呼吸器症状を呈し、臨床的又は放射線学的に肺炎、ARDS などの実質性肺病変が疑われる者であって、発症前14日以内に <u>対象地域（※1）</u> に渡航又は居住していたもの
イ 発熱を伴う急性呼吸器症状（軽症の場合を含む。）を呈する者であって、発症前14日以内に <u>対象地域（※1）</u> において、医療機関を受診若しくは訪問したもの、MERS であることが確定した者との接触歴があるもの又はヒトコブラクダとの濃厚接触歴があるもの
ウ 発熱又は急性呼吸器症状（軽症の場合を含む。）を呈する者であって、発症前14日以内に、 <u>対象地域か否かを問わず（※2）</u> 、MERSが疑われる患者を診察、看護若しくは介護していたもの、MERSが疑われる患者と同居（当該患者が入院する病室又は病棟に滞在した場合を含む。）していたもの又は MERSが疑われる患者の気道分泌液若しくは体液等の汚染物質に直接接触したもの

※1 「対象地域」：アラビア半島又はその周辺諸国

※2 「対象地域か否かを問わず」とは、当分の間「対象地域及び韓国」とする

KRICT では会員の皆様のお役に立つような感染症情報を随時配信しています。また、ご質問や施設内ラウンド、施設内講習会への講師派遣などの依頼を募集しています。お気軽にご相談ください。

発行元：NPO 法人 KRICT（北九州地域感染制御チーム）

home-page：http://kRICT.infoseek.ne.jp/

TEL/FAX: 093-741-5887

E-mail: kRICT2003@yahoo.co.jp